

議会だより

しょうわ

2013.10.22

No. **159**

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

リズムに合わせて
いち、に！
いち、に！！

上河東・第二上河東保育園
園児マーチング(運動会)

水害発生 現場へ急行 ②

社会福祉の推進を検証 ④

一般質問 ここが聞きたい ⑫

地域住民と議員の対話集会 **井戸端会議** ⑮

告知 **町民参加型政策提案学習会** ⑳

現場へ急行

被害!! さあどう動く?～

平成25年9月1日、昭和町議会災害対策本部設置要綱に基づき、第2回防災訓練を行いました。水害が想定される各現場を調査し、また町の事業である常永土地区画整理地内の調整池工事視察を加え、町民の皆さまにもご参加をいただきました。

常永土地区画整理地内2号調整池視察



地域住民とともに

常永土地区画整理事業内にある4カ所の調整池()の一つ。近隣の住民の方も集まり、区画整理課職員の説明のもと、現場見学を行う。

調整池とは...

下流域の洪水を防ぐため、雨水を一時的に貯留し、下流域河川の水位が下がったことを確認後、貯留された雨水を自動制御ポンプにより放流するシステム。2号調整池の貯留量は7,700立方メートル。



建設中の調整池

第2回
防災訓練

水害発生

～大型台風接近！洪水

釜無川決壊、氾濫状況確認



釜無川左岸より



河西地内

かすみ堤現場調査

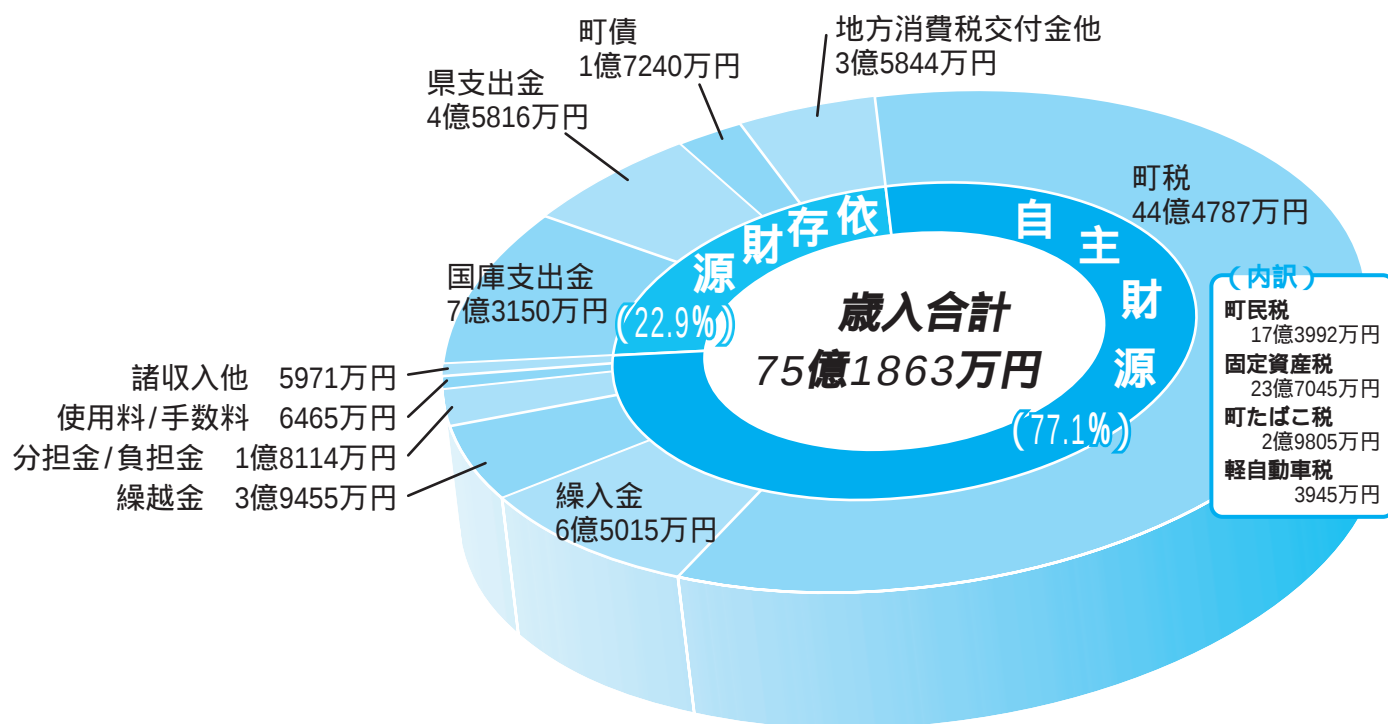
古代から起こる富士川（釜無川）の大洪水に対し、武田信玄公が築いた堤防の一部。甲斐市から旧田富町（現中央市）にかけて一の堤、二の堤、三の堤と続き九の堤まで築かれていた。幾重にも連なる堤の眺めが、まるで春霞がたなびくように美しかったことが名の由来と言われている。



『大正拾参年四月八日竣工』と刻印されている

推進を検証

オープン(中央市と共同設置)

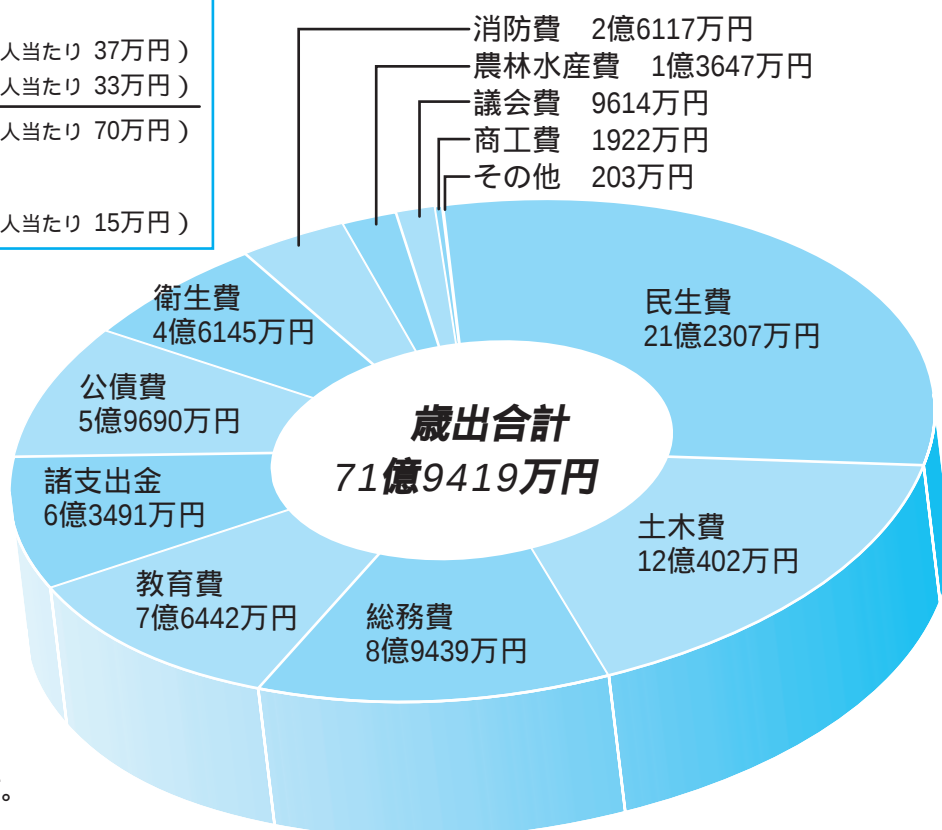


町債(借金)の累積残額

[一般会計]	68億5528万円 (1人当たり 37万円)
[下水道事業]	61億6155万円 (1人当たり 33万円)
[合 計]	130億1683万円 (1人当たり 70万円)

基金(預金)の累積残額

28億2835万円 (1人当たり 15万円)



数値は端数調整してあるため
合計が一致しない場合があります。

平成24年度
一般会計
決算を認定

社会福祉の 障害者相談支援センター

決算特別委員会は、9月9日から18日まで開催されました。

第3回定例会で決算特別委員会に付託された、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、湧水対策事業特別会計に対し、監査委員の意見書及び各課長から説明を受けました。いずれも慎重審査の結果、賛成多数で認定されました。（一般会計、国民健康保険特別会計 / 反対：深澤平助議員）

平成24年度決算のあらまし

一般会計は約71億9419万円、特別会計は6つの会計を合わせて約36億8351万円となり、計約108億7770万円の歳出決算となりました。平成23年度と比べて約1.02%増加しています。これに対し歳入決算は、歳出決算を約4億3268万円上回る、約113億1038万円となりました。経常収支比率（ ）では、前年度より0.3%増加し、84.1%となりました。

町民1人あたり
約39万円
特別会計を含めると
約59万円使いました。
H25.3.31現在
人口18,515人

経常収支比率とは

義務的経常経費（人件費や扶助費、公債費など）に一般財源収入がどの程度充当されているのかを示すもの。町村では70%程度が望ましい。

教育費



- ・小中学校費
2億5393万円
- ・学校給食費
1億5548万円
- ・温水プール運営費
7737万円

土木費



- ・常永土地区画整理事業負担金
1億4000万円
- ・道路維持費
8355万円
- ・押原公園指定管理委託
2084万円

〈一般会計〉

おもな使いみち

民生費



- ・保育所運営費
5億7684万円
- ・自立支援給付費
1億6833万円
- ・子育て支援医療費
8133万円

総務費



- ・総合行政情報システム保守
3764万円
- ・保養施設委託料
270万円

衛生費



- ・中巨摩地区広域事務組合負担金
1億3740万円
- ・人間ドックほか健康診査委託
4897万円
- ・一般廃棄物収集運搬処理
5754万円

消防費ほか



- ・甲府地区広域事務組合負担金
2億528万円
- ・避難所防災備品
266万円
- ・町商工会育成事業補助金
867万円

公債費

（借金返済）



5億9690万円

諸支出金



- ・基金積立金
6億3491万円

（単位：千円以下切捨て）

平成24年度特別会計決算

(単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	17億9556万円	17億2219万円	賛成 ¹⁴ 反対 ¹
後期高齢者医療特別会計	1億2273万円	1億2238万円	全員賛成で認定
介護保険特別会計	7億6466万円	7億5532万円	
介護サービス特別会計	1372万円	1345万円	
下水道事業特別会計	10億8871万円	10億6395万円	
湧水対策事業特別会計	635万円	619万円	

数値は端数調整してあるため合計が一致しない場合があります。

(反対：深澤平助議員)

平成24年度健全化判断比率等の状況

平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率は、
いずれの指標も基準を下回っているため、**健全である**といえます。

財政健全化判断比率（％）

	実質公債費比率	将来負担比率
比 率	10.1	55.4
早期健全化基準	25.00	350.00

財政力指数（単年）

H22	H23	H24
1.09	1.15	1.12

地方自治体の財政力を示す指数。

3力年平均で1未満の場合に交付団体になる。

実質公債費比率は23年度と比べ0.4％増加しました。将来負担比率は23年度より4.8％減少し、実質的な標準財政規模に対する負担比率は低くなりました。
実質公債費比率・将来負担比率ともに比率が小さいほど財政状況は良いと判断します。

24年度決算

監査委員の決算審査意見

健全財政維持を優先課題に 町民福祉の充実推進を望む

監査委員 石原 政彦
福島 正明

平成25年8月1日から9日まで審査しました。

審査の結果と意見

各会計予算に計上された
事務事業は、順調な成果を
収めているが、今後とも業
務の適正かつ効率的執行に
努められたい。

財政力指数は1・121、
経常収支比率は84・1％で、
硬直化傾向の数値となつて
おり、財政構造の弾力性に
注意が必要である。

一般会計歳入では、町民
税や固定資産税などの減少
が懸念される。予算の10％
に及ぶ滞納は、厳しい財政
運営が懸念され、専従でき
る人的配置を含め、全庁体
制での取り組みと対応策を
早急に検討されたい。

釜無・国母両工業団地企
業からの法人税、固定資産
の税収は大きい、撤退や
減収減益が懸念され、何ら

かの支援策も必要。また、
各種補助、助成等の事業や
団体に対し継続的な見直し、
補助の必要性、額の妥当性、
事業内容等を十分検証し、
バランスある行政施策が必
要である。

教育関係では、いじめ、
不登校、非行等について、
児童生徒の状況把握に万全
を期し、学力、体力が一層
養える教育指導を願う。

費用対効果および行政運
営上、真に必要なものか十
分検証し、健全財政維持を
最優先課題として、均衡あ
る発展と町民に分かりやす
い規律ある財政運営、全庁
的な経費削減に対する取り
組みや事務事業の効率化や
職場の活性化を図り、町民
福祉の充実を推進するため、
更なる努力を要望する。

さあ議員全員でチェック

決算審査特別委員会

業務委託をなぜ見落としたのか

石原議員 常永小・押原中の休日夜間巡回警備業務委託料返還金が出ていたが、なぜ業務内容を見落としたのか。

学校教育課長 業者内の事務引き継ぎ、および学校のチェック体制の不備によるもの。

教育長 監査委員より指摘された事項でもある。業

者と学校も含め、学校教育課には再発防止の徹底、管理体制を強化するよう注意した。

河住議員 非常時の町営住宅のエレベーター停止を想定したことを、防災訓練に取り入れてほしい。また、貯水槽にある消火栓を実際に使用することも訓練時に加えてほしい。

企画財政課長 防災訓練については建設課と検討していききたい。消火栓使用は消防団と話し合い、災害時

に使用できるよう、訓練していききたい。

中澤議員 西条小と押原小とは教育費に大差があるが、要因は。

学校教育課長 学校管理費における、人件費や修繕費に変動がみられるため。

三井議員 公園費の委託料で、シルバー人材センターが行っている業務は何か。

都市整備課長 町内にあるほとんどの公園の除草、ごみ収集を委託している。

深澤(平)議員 後期高齢者医療保険料の収入未済額の件数は。またその理由は。

町民窓口課長 平成24年度分については10件。今もなお徴収に伺っている。滞納繰越分は3件のうち1件は徴収済。残り2件は生活に苦勞されている方で、土地等を手放したことによる賦課のため徴収に苦慮している。

通所リハビリが少ないのは

河田議員 介護サービスの中で、通所介護の利用に

みんなとやれば楽しい



対し通所リハビリが少ないのはなぜか。

福島議員 サービス事業があるならば、PR活動や啓蒙等も必要では。

いきいき健康課長 当初の計画に対する利用者の実績理由は不明だが、サービスの利用向上のため、各サービス業者が行っている内容を理解し、各自に合ったより良いサービスが受けられるよう周知していききたい。



非常時に使用可能な貯水槽・消火栓



平成25年度一般会計補正予算

着々と進む杉浦醫院 — 駐車場も整備 —

一般会計 全員賛成で可決

一般会計は、繰入金・前年度繰越金等を財源とするほか、法人の平成24年度決算による減額に伴い、一般財政調整基金を取り崩し2億657万円の増額、総額を75億1902万円としました。

補正の主な事業としては、保育園増築による補助や、青年就農給付金などです。



杉浦醫院

特別会計補正予算 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計874万円増(総額・18億474万円)

介護保険特別会計1120万円増(総額・7億7837万円)



町民憲章朗読

9月議会で 決まったこと

平成25年9月定例会は、9月3日から18日まで16日間の会期で開かれました。町長提出の平成25年度一般会計および特別会計補正予算3件のほか、教育委員の任命1件、条例の改正・制定3件、その他1件の計8件を審議しました。一般質問では6人の議員が12件について、活発な質問・意見を展開しました。

条例改正

・職員給与条例中改正の件
新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、条例中に「新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当」を追加するもの。

・手数料条例改正
県より岩石採取計画と砂利採取計画の権限委譲に伴う一部改正。

条例制定

・子ども・子育て会議条例制定

子ども・子育て支援に関する施策の推進に対し、調査審議するための条例。
全員賛成で可決

契約締結

・西条小学校地内耐震性貯水槽設置工事請負契約締結
請負者 井口工業株式会社
全員賛成で可決



常永小に続き設置される貯水槽

人事

教育委員に
おあた まるい
太田 學氏 任命



清水新居476番地

任期4年。
全員賛成で同意

「子ども・子育て会議」って？

子ども・子育て支援法の規定に基づき、基礎自治体(市町村)が主体となり、地域のニーズに合った計画を策定し、給付・事業を進めていくもの。



請願

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

・請願者

昭和町PTA協議会・小中学校校長会・教頭会
山梨県教職員組合中巨摩支部

「要旨」

一、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。

一、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

一、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

・紹介議員 深澤克男議員
・提出先

内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 文部科学大臣

全員賛成で採択され、意見書を国へ提出

総務常任委員会

公共施設の 電力供給切替は

河田議員 新しく契約する日本ロジテック協同組合と、どのような契約を結ぶのか。野中議員 会社の事業内容は。

総務課長 送電設備は東電のもので、電力供給のみの契約。安く供給でき、事故の場合は、再度東電からの供給に切り替えられる。また、会社ではなく、太陽光や火力発電など余剰電力を扱う組合。



活発な委員会

教育厚生常任委員会

子ども・子育て会議の内容は

深澤（平）議員 子ども・子育て会議における委員を公募する考えはないか。福祉課長 公募で2人予定している。

深澤（克）議員 概要には幼稚園・保育園などの保育施設に利用定員を定める、とあるが実質的に実行できるのか。

福祉課長 保育園は定員の2割増までの対応をしている。今後のニーズ調査の結果によって検討していく。

三井議員 子ども・子育て会議はどのような時に招集されるのか。

福祉課長 ニーズ調査の結果、5年を1期とした事業計画を定める。その間も会議は開催し、制定後も見直しや変更等が出たときには、随時招集する。

深澤（平）議員 学校管理費の中の水道水の異臭は、飲用水として問題はないのか。また水質検査は行ったのか。

学校教育課長 大量に飲まない限り健康に支障はない。7月1日に水質検査を行い、異臭の原因である物質が検出された。平成25年度より浄水器を設置した。

地方分権対策特別委員会

協働政策評価の検討項目について質疑を行いました。

高齢者医療費の無料化

深澤（平）議員 今後の方針として人員配置、財源の確保とあるが、具体的にどういうことか。

町民窓口課長 現状の課員では成り立たないため増員が課題となる。今後も高齢者が増えていく中で、長期を見据えた財源確保が必要となる。

深澤（克）議員 償還払いは重度障害者には自動償還払いができていないのに、健常高齢者に対してできないのはなぜか。

町民窓口課長 重度障害者の自動償還払い制度は全県下で負担し合い、国保連と共同でシステムを開発している。町単独で行うのは難しい。

子育て支援医療費助成の拡充

深澤（平）議員 中学生までを対象としているのは、昭和町以外の全町村が行っている。これをどう考えるか。福島議員 これまで町民に還元する意味で、税金をい

ろいるな事業に使ってきたが、今こそ補助金等の見直しをしっかりと行い、財政基盤の強化に取り組んでもらいたい。

副町長 確かに県内町村の中では、昭和町のみが小学生までを対象としているが、近隣市とのバランスもみながら、継続課題として進めていきたい。

産業土木常任委員会

どうしてこんなに 金額が高いのか

福島議員 都市計画マスタープランの冊子が200部で160万とは高すぎないか。都市整備課長 主にデザイン構成等にかかる。業者選定を慎重に行い、発注したい。



田中議員 区画整理事業の中で調整池4力所の管理は。また総予算と年間の経費はどのくらいか。

区画整理課長 出来上がっている1・3・4号調整池については建設課が管理している。

ポンプ稼動に伴う電気料や維持管理費として、土砂の処理代等がかかってくる。4つの調整池設置事業の総予算は14億5千万円ほど。(町負担約4億3千万円、常永土地区画整理組合負担約10億2千万円)年間経費はおおよそ電気料では約65万円、土砂搬出工事としては約340万円と見込む。

中澤議員 昭和町産ブランド米ヒノヒカリへの補助対策の予算が足りない聞いたが。

環境経済課長 10月末ころに数量が確定するので、12月議会で予算補正を予定している。

福島議員 町道30号線の進捗状況は。

建設課長 平成28年度末供用開始。現在、地権者と協議中。

水源対策特別委員会

井戸設置時、町職員は立ち合っているのか

福島議員 井戸設置届出書の申請に対し、きちんと審査しているのか。また井戸設置工事の際、町職員も立ち会いをしているのか。

深澤(平)議員 工事の際に立ち会うことを条例等に加えたかどうか。

環境経済課長 審査はきちんと行っている。立ち合いについて条例に加えるかは今後検討したい。

討したい。

深澤(平)議員 補償井戸の築地第1号の稼動に伴い、予備費から電気料へ充当したようだが、いつからか。

環境経済課長 8月からの請求。河田議員 8月からの請求に対する使用期間はいつからになるのか。

環境経済課長 7月18日から8月19日までの分。



井戸掘削工事の様子

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 平成24年度施政方針の進捗状況と成果は

A 引き続き対話町政を推進したい

河住

平成24年度の施政方針で3つの重点事業

として、

災害時における防災対策の強化。

教育指導主事配置による昭和教育の推進。

協働政策評価による事業の見直し。



河住 保茂 議員

また、10の具体的施策があるが、これら事業の進捗状況と成果は、

町長

一般行政関係として防災備蓄品の整備や

地域防災計画の見直し、防災行政無線放送塔の増築の実施

町道の整備と都市計画マスタープランの見直しが実施されている。

教育委員会関係ではひとづくりの具現化や、学校現場からの意見聴取の充実、小

学校への情報教育を推進。文化協会の支援や杉浦醫院の保

存整備事業が行われ、町民の文化的・健康的な生活を応援

している。また、町内12地区を歩き、町民とひざをまじえ

て対話を重ね、町の政策や方向性を積極的に公表し、町民

の考える力や、主体的で自主的な活動ができる環境づくりの必要性を、機会あることに話してきた。

引き続き町民の皆さまとの対話町政を推進し、昭和町に住むことに誇りと幸せを感じるまちづくりを進めていきたい。

Q 災害としての熱中症対策は

A リアルタイムに注意喚起

河住

熱中症に対する町の啓発活動は、今夏、

熱中症が死亡原因の方はいたのか。公共施設の冷房化率と

今後の見通しは。

町長

日中家にいる高齢者が最も発症リスクが

高いといわれている。町内では6人が搬送され、2人の死

亡を確認している。気温が35度を超える「猛暑日」はリアル

タイムな気温の変化に基づき、防災放送で注意を呼びかけた。

公共施設の冷房化は、体育館を除き冷房化している。熱中



町民と町長の対話集会

症予防対策については、高齢者世帯等への訪問や電話連絡の実施、生きがいクラブやふれあいサロンへの注意喚起などを進めていきたい。

「その他の質問」

Q 役場職員の町内居住対策は、

A 採用試験で条件を付けている。

施策を問う

一般質問



いしはら たかひろ
石原 高明 議員

Q リニア活用の 基本構想と人事交流は

A 積極的な 情報収集と連携を図る

石原

14年後の2027年にリニアが開通する。

利用目的と町の特性がマッチした分野や、隣接自治体の観光地や施設に必要な交通網に着目し、リニア活用構想を練る必要がある。また、昭和町の住み良さをアピールし、国の機関や本社、研究施設の誘致など、勤務者と家族の生活する場をセットでアピールすることも必要だ。そこで、リニア中央新幹線を活用したまちづくりの基本構想や方針、県や甲府市との職員の人事交流を含めた連携について町はどう考えるのか。

町長

リニア駅が設置される甲府市との連携は不可欠であり、他の自治体と連携し、広域的な取り組みが求められている。来年4月には甲府市と人事交流を通じて情報交換を行い、将来、市街地形成が可能になった場合、教育研究機関や企業誘致、住宅地の形成にも取り組みたい。まずリニアを活用した昭和町のまちづくり推進のため、積

極的な情報収集と近隣市との連携を深めていきたい。

Q リニア新駅に伴う 道路網等の整備は

A リニア新駅結ぶ道路 整備は喫緊の課題

石原

リニア新駅と甲府駅周辺を結ぶ新交通システムに、どうかかわっていくのか、国母駅・常永駅と周辺の道路交通網の整備をどのように絡めていくのか、その方向性は。

町長

リニア新駅と町を結ぶアクセス道路の早期実現が重要だ。県は新駅周辺の市街地形成は行わないと聞いているが、新駅周辺が住宅地・商業地等が可能となった場合、新駅を結ぶ道路網がないとリニアを活用しにくい町となり、結果として近隣市への人口の流出が起きる可能性もある。本町から近隣市を通過し、リニア新駅に結ぶ道路の整備は喫緊の課題であり、道路網と合わせ、国母・常永



未来の構想を乗せて

両駅へのアクセスおよび周辺整備も、甲府市、中央市と連携しなければならぬ課題である。

Q 小型家電の回収・リサイクルは A 再資源化に努力していく



三井 猛 議員

三井

小型家電といわれる
デジカメ・携帯電話・

パソコンなどには金・銀・銅
などの有用金属や、レアメタ
ルといわれるリチウム・ニツ
ケル・コバルトなどの希少金
属が含まれている。

特にレアメタルは世界的に
需要がひつ迫し、価格が急騰
しているが、小型家電製品の
ほとんどが不燃物・不燃ごみ
として処分されている。国内
の年間廃棄家電品は推定で65
万トン、その中に有用金属は
28万トン、金額で844億円
になり、眠っている都市鉱山
ともいわれる。

リサイクル・再資源化推進



眠っている都市鉱山がここに

のため、本年4月から「小型
家電リサイクル法」がスター
トした。回収体制のできた市
町村から順次開始されるが、
町の制度導入に対する考えは、

町長

昨年8月に「使用済
小型電子機器等の再

資源化の促進に関する法律」
が成立し、本年から施行とな
った。この法律で自治体は家
庭から出た使用済小型家電を
分別収集するため、必要な措
置を講じ、国認定の事業者

引き渡し、再資源化を行う努
力義務がある。

町では小型家電について「小
型家電リサイクル法」による
回収はしていないが、現状は
一般収集の不燃ごみとして、
中巨摩地区広域事務組合での
処理と、粗大ごみ一括収集で
出される不燃ごみとして町の
委託業者での処理の2通りの
方法を行っている。

粗大ごみ一括収集委託業者
は国から認定されている業者
と業務委託し、粗大ごみ一括

収集の折に小型家電を分別し
「小型家電リサイクル法」に
沿った処理は可能である。小
型家電は粗大ごみ収集時に、
試行的な対応をしたい。今後
先進自治体の状況を参考に、
制度を推進していきたい。

再質問

三井

小型家電は28分類、
96品目にも及び、不

燃ごみの袋に入ってしまう小
型家電は、粗大ごみ収集日に
は出されないとと思われる。先
進自治体を参考に制度を推進
したいとのことだが、町民へ
の普及啓発、回収方法、開始
時期の見通しは。

環境経済課長

8月の
粗大ご

み収集日に、粗大ごみとして
出された小型家電の分別収集
を試行的に行った結果、1・
6トンが集まった。「小型家
電リサイクル法」が施行され
たことを、広報掲載や全戸配
布のチラシなどで住民に周知し、
小型家電分別収集を年内をめ
どに実施したい。



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

Q 町内農道の安全対策は

A 町道・農道の区別なく整備

田中

町内の農道は農業生産性向上の目的で整備され、一般住民の通勤や買い物等の生活道路としての役目も果たしている。直線道路が設計の特徴で、信号機もなく危険な事故多発個所もある。町の状況把握と、信号機や停止線など設置する考えは。

町長

町道・農道との区別なく、路面標示やカーブミラー等交通安全施設整備を行っている。各地区の危険個所への路面標示や、カーブミラー等設置の要望は申請に基づき、迅速に交通安全施設整備を実施し、交通安全の確保に努めている。なお、信号機や一時停止などの交通規制を伴うものは、町では設置できないため設置機関である公安委員会へ警察を通して要望している。危険個所の調査は、専門交通指導員の巡回や各地区の交通安全指導員等が行っているが、早急な対応が

必要な所は現在はない。

Q 町有地の管理と運用は

A さらに管理運用の方法を検討していく

田中

長年使用されない町有財産はどの程度あり、毎年のコストがどのくらいかかっているのか、今後の管理や処分に対する考えは。

町長

河東中島区の未利用地は、交番設置のために取得した土地で、残地を所有しているが、売却を含め



危険な農道交差点

Q 指定管理者制度導入の検討結果は

A 制度導入をさらに検討していく

田中

昨年3月の一般質問で、指定管理者制度導入を進める考えはないか質問したが、どのような結論が出たのか。

町長

本町の現状に即した町民への公共サービスの機会の提供などの観点から、制度導入の方向性を検討していきたい。

検討したい。押原公園隣接地は駐車場として取得し、財政状況が厳しく舗装工事等はないが、スポーツ大会時は臨時駐車場として利用し、ふるさとふれあい祭りの時には会場の一部として利用している。その他、有効活用可能な未利用地はないが、公有財産台帳に基づき詳細を確認したい。

Q 介護保険一部改正に向けての準備は A 社会福祉協議会とも連携



かわた 河田あけみ 議員

河田 2060年には高齢化率が39.9%に達し、国民の2.5人に1人が高齢者となる社会がくる。町では高齢者の生きがいづくりと健康推進事業などを行っているが、今後、認知症対策が特に必要になる。時代とともに予防事業も変わるが、筋力トレーニングや認知症対策が急務で、介護保険制度一部改正を見込み、準備計画が必要と感じる。町の考えは、

町長

健康寿命の延伸を念頭に、保険給付費の抑制を兼ね予防事業に重点を置いている。制度改正の場合、保険給付費の減少が見込まれる一方、介護保険地域支援事業の予防事業の対象や事業を充実し、日常生活総合支援事業等、社会福祉協議会とも連携し検討・準備を進めている。今後、法改正に伴う本町の具体的方針・対応は、改正内容の決定を受け示していきたい。

Q 5歳児健診の必要性は

A 環境整備等を検討する

河田 昭和町は1歳半までかなり手厚い健診を行っているが、3歳児健診が就学前最後の健診で、注意欠陥・多動性障害などの発達障がいとは判別しにくく、就学前の5歳児健診での早期治療・支援開始が必要だ。5歳児健診を独自実施する場合の費用と町の考えは、

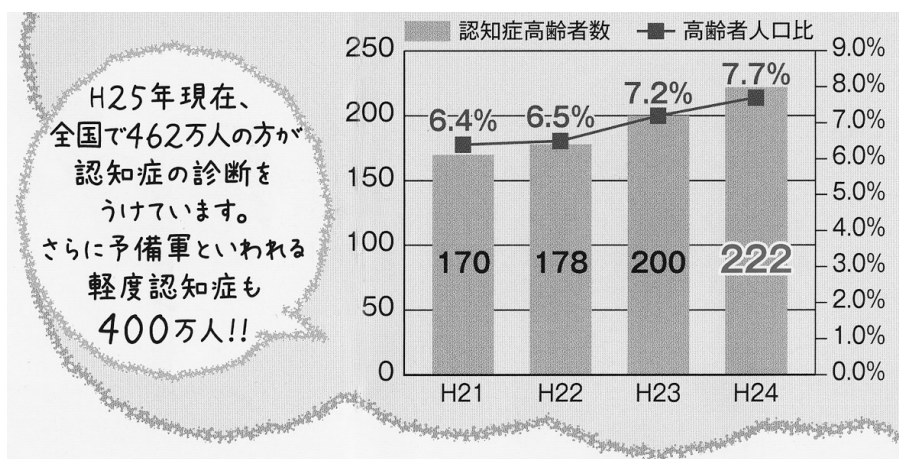
町長

就学前健診により、早期治療、早期支援を開始することは、子どもの健全育成や学校現場の円滑な運営を図るために必要と考える。しかし、支援体制等マンパワーを中心とした環境整備が必要で、他事業との調整・優先

度の検証等を踏まえ、検討していきたい。

5歳児健診を独自で実施した場合の費用は、小児科医師・歯科医師等への依頼の費用他、諸経費を合わせ38万円程度になる見込み。

町の認知症高齢者数の移り変わり



Q 連結納税制度の見直しを

A 制度見直しには配慮が必要



ふかさわ へいすけ 深澤 平助 議員

深澤

本年7月の臨時議会で、25年度法人町民税の

一部を返還する穴埋めに、一般財政調整基金から1億1500万円を取り崩し、増額補正を行った。これは30年近く操業し、町の税収入においても安定した大きな比重を占めているテルモ(株)が米国の

子会社組織再編に伴い欠損金が出たため、テルモグループ全体で155億円の法人税が免除されるとの説明だ。

2002年からの連結納税制度()は企業にメリットはあるが、自治体には大きな不利益を受ける税制度といえる。連結納税制度の見直しを求め、市町村と連携し関係機関に強力に働きかける必要がある。町の考えは。



釜無工業団地航空写真

町長

企業をめぐる状況や、経済の取り引きも情報化・グローバル化が進み、日本企業は世界的な規模での大競争時代に突入してきた。主要先進国が導入しているグローバルスタンダード(世界基準)に則り、連結納税制度も制度化された。連結納税制度は海外取引をする場合、企業にとって有利で国際競争力を測定できるようになり、海外の証券取引所で上場に使えるなどの企業メリットがある。

国策の一つである連結納税制度の導入により、市町村財政が厳しい状況になっているが、国は財政支援の各種方策を練っており、たとえば、たばこ税は県税額を下げ、市町村税額を上げる改善もされた。連結納税制度は法人町民税に係る大きな問題だが、改正の経緯を知ると、専門家を含め国会の中で十分議論された国策で、町村の権限外でもあり、連結納税制度の見直しを求めることには慎重な配慮が必要と考える。アベノミクス効果で状況が改善されているという報道もあり、企業の業績が持ち直し、法人税の納税額が上がってくることを期待したい。

連結納税制度とは

親会社と子会社などの企業グループを一つの企業とみなし、法人税を課税する制度。グループ内企業の黒字と赤字を相殺でき、課税所得を圧縮する効果と、企業の国際競争力を高める効果がある。

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

上河東区(第2回)

7月18日 上河東区公会堂

●出席者 区民29名
●参加議員 産業土木常任委員会
遠藤辰男 河住保茂
三井 猛 福島正明
中澤康夫
萩原馨議長

●地元議員 塚原将司

おもな意見・要望と議会の対応

Q 保養所の新設は考えていないか。長野や軽井沢方面等を検討してほしい。

A 今現在、山間地などの避暑地

は考えていない。今後も静岡県牧之原市や御前崎市の利用を進めていく。

Q 県道市川三郷線、河東中島地内の道路整備の進捗状況は。

A 現在下水道工事の仮復旧中。平成25年9月から10月までには完全に復旧する予定。

Q いーなとつづ昭和直売所の売り上げ状況は。

A 開店後、5月までで売上5、808万円で初年度の目標6、000万円に対し順調な運営ができています。

西条二区(第3回)

7月24日 西条二区公会堂

●出席者 区民24名
●参加議員 総務常任委員会
塚原将司 野中敏美
河田あけみ 林 和仁
石原高明

●地元議員 長谷川幸廣 深澤克男
萩原馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 地域活性化交付金で、区の運営費を地区間の格差や、区に加入しない住民の加入活動等、組長の活動に対しても手当等の補助見直しを。

A 転入手続き時にチラシを配布し、町民の区・組への加入促進を働きかけている。

地域活性化交付金は、各地区の世帯数・人口・組数等に基づいて算定し、町では6事業分をまとめて交付している。この6事業分の交付金は、事業ごとの支出に規制はなく、各地区で自由に活用できるようにしている。

組長手当は、町では各地区の組数に応じて交付しているが、各地区間の格差が出ないように交付金を算定している。

Q コンビニにAEDを設置するとの提案(6月議会一般質問)は大いに賛成であるが、その費用等は。

A 1台月額5、565円、年間66、780円の見込み。来年度当初予算に計上して設置に取り組んでいきたい。



いつでも！どこでも！
いざという時のために

上河東二区(第4回)

8月16日 上河東二区集会所

●出席者 区民24名

●参加議員 教育厚生常任委員会

長谷川幸廣 田中博愛

深澤平助 樋口敏夫

深澤克男

萩原馨議長

●地元議員 河住保茂

おもな意見・要望と議会の対応

Q JR身延線常永駅は無人で不便だ。イオン顧客の利用も増えているので対応願いたい。

A 駅利用者は増加しているとは思いますが、周辺観光の拠点駅ではなく、特急電車が停車しない現状も含め、当面は町の臨時職員等の人員配置を考えていない。

Q 教育厚生常任委員会はどんなことをしているのか。

A 教育全般(保育園・小中学校)、社会福祉、生涯学習等の行政予算執行の確認。またそれに伴う研修等。

Q 愛育会の全戸加入を勧めたらどうか。

A 高齢化が進み、また社会環境の変化により働く女性が増え、価値観の相違などにより、実質的な

常永駅に人員配置を



全戸加入は厳しい。一括して会費を納めている区もあるようだ。

Q ごみ収集小屋が古く、見栄えが良くない。デザインを変えられないか。

A デザインや色等に特に決まりはない。区で検討してほしい。

築地新居区(第5回)

9月17日 築地新居区公会堂

●出席者 区民11名

●参加議員 総務常任委員会

塚原将司 野中敏美

河田あけみ 林和仁

石原高明

萩原馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 補正予算でも示されているように、国民健康保険特別会計予算が年々増えている。年金だけでは生活苦になり、生活保護受給者が増加すると思うが、議会として方向性は考えているのか。

A 当局と同じ方向で進む中で問題提起し、委員会等で話し合い、行政に要請していく。

Q 今議会で制定された「子ども子育て会議条例」の「子育て会議」とは何か。

A 子どもたちの将来のため、子育てに関する事業を進めるための会議。

Q 町内にある消火栓ほか物品の老朽化が目立つ。町のイメージにもつながるので対応を。

A 消防団部長会議に消火栓ボックスの点検をお願いする。老朽化

物は予算状況を見ながら逐次取り替えていきたい。



老朽化した消火栓ボックス

今後の井戸端会議の予定

日程	区	担当委員会
10/29(火)	清水新居区	産業土木
11/28(木)	西条新田区	産業土木
11/29(金)	飯喰区	総務

学生 × 町民 × 議員

町民参加型 政策提案学習会開催

山梨学院大学との提携の中で、年に1度山梨学院大学に出向き学生とワークショップを行っています。今年は昭和町に会場を移し、町民の代表の方々にも参加を依頼し、各立場からの目線で意見をいただき、学生から出される提案に対し、町民、議員とで共に学習する会を計画しました。

開催日 平成25年11月24日(日)午後1時～

場 所 地域交流センター(押原中学校体育館)

～ 学生からの提案9項目～

●総務

- ・昭和町における景観政策の課題
- ・男女共同参画における女性の活躍
- ・若い世代への市民教育
- ・昭和町に眠る資源を発掘する



●教育厚生

- ・子どもの心のケアと市町村
- ・市町村教育委員会の活性化について
- ・みんなが主役になれるふれあいサロン

●産業土木

- ・震災危険地区に対する対策について
- ・交通量の増加に備えた環境対策



たくさんの方のご参加お待ちしております。

掲載写真：昨年のワークショップの様子

追跡

あの一般質問は どうなった？

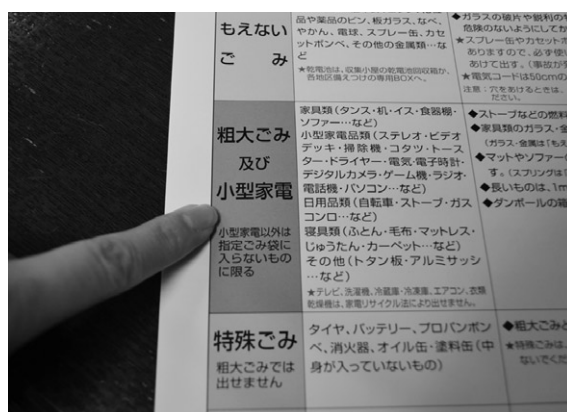
議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡① 小型家電の回収・リサイクル

(平成25年9月議会 質問者：三井 猛議員)

問 小型家電といわれるデジカメ・携帯電話・パソコンなどには、金・銀・銅などの有用金属や、レアメタルといわれるリチウム・ニッケル・コバルトなどの希少金属が含まれている。リサイクル・再資源化推進のため、平成25年4月から「小型家電リサイクル法」がスタートした。町の制度導入に対する考えは。

答 小型家電は粗大ごみ収集時に、試行的な対応をしたい。今後、先進自治体の状況を参考に制度を推進していきたい。



ごみ収集・リサイクルカレンダーに

その後

平成25年下半期 ごみ収集・リサイクルカレンダーに「小型家電」をごみの分類として追加記載。毎月第4月曜日に収集する。

分別に心がけを



議員が 現場検証に行く



～ 産業土木常任委員会で太陽光パネル設置状況・体育館天井改修工事を視察しました～



地域交流センターの屋根に設置された太陽光パネル。
1日約145kWhで自然エネルギーの有効活用に期待。



災害時に危険が想定されていた、西条小学校体育館の吊り天井の改修現場。

憲法改正！地域医療！地方議会！ 迫る諸問題に議員が学ぶ

山梨学院大学教授との勉強会が7月、8月、9月と開かれました。



あつし 鈴木 敦 専任講師



ひさし 今井 久 教授



つなお 今村都南雄 教授

- 憲法改正論議の歴史と現下の改憲論
(96条改正ほか)

- 地域医療に関する諸問題
医療費の自治体間格差等

- 議会を巡る諸問題
(地方議会選挙でのインターネット活用等について)

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

【ヒント】議会だより159号(この号)を読んでください

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX : 055-275-5250
- メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

11月末日 消印有効



空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 議員防災訓練、○○○堤を現場調査。
- 2 平成24年度決算、歳入総額○○億1863万円。
- 3 常永小学校に続き、○○小学校にも耐震性貯水槽設置。

158号クイズの答え

甲府
71
紙漉阿原

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました！

＜意見＞子育て最中世代です。
“少子化”深刻に感じます。様々な理由
はあると思いますが、経済的理由も大きい
と感じます。私も理由は3人、現実2人です。
予防接種の助成拡大等、今後もお願ひします。

表紙の子どもの生き生きした表情が
昭和町でのびやかに育っていることを伝えて
くれています。我家の子どもたちも、地域に
見守られ、大きく育ちました。議会だよりは、
議会が身近に感じられ、読みやすいので、
毎回楽しみにしております。

防災の日に 常永小学校東の調整池を見学する事ができました
工事完成後はあまり見る事が出来ないとの事で多勢の人と見学をしました
大雨洪水時、ダム役割と兼ね備えた大変な難しい防災設備では
そこで 議会より水害時、昭和町より下の隣接する市町村に
溢れた泥水処理できる設備を造る様に働きかけてほしい。

メールでもご意見をいただきました

町民の健康管理について、多くの予算をかけて下さることはあ
りがたいことです。26年度から管理栄養士を設置することに敬意
を申しあげます。「健康日本21」および「健やか山梨21」を目標
に、町民の健康管理に重点を置き、健康寿命の伸長・医療費の削
減にも寄与するものと思います。

本町「議会だより」が、いつも他の自治体の模範になっている
のも各議員・議会事務局の真摯な気持ちの表れだと感じます。こ
れからもより良い「議会だより」でありますよう期待し、ご活躍
をお祈り申し上げます。

お詫びと訂正

前号158号・P11(林議員再
質問)の中で、ルビの箇所
が間違っていました。
正しくは「鬱^{うつ}」です。お詫び
して訂正いたします。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

飯喰地区の今昔



飯喰区

小沢

馨さん

私は飯喰区で生まれ育ちました。幼かったころは川での水遊びや魚とり、ホタルやカブトムシ採りと大自然が友達でした。米麦を中心に近郊野菜栽培が盛んで、朝早くから夜遅くまで働き、子どもまでも泥んこになって手伝いをしたものです。

100%近く専業農家でありましたが、時代の流れと共に段々と兼業農家や離農する人が増え、農業後継者不足が深刻化した折、町施策として平成15年に常永地区開発計画の準備組合が立ちあがり、諸問題を抱えながら紆余曲折がありました。町や地域の皆さまのご理解、ご協力をいただき、ようやく平成20年に常永土地地区画整理組合が設立されました。

私も役員として微力ながら参加させていただいてありますが、83・4の区画整理地内に、大型ショッピングモールの進出で急速に都市化し、新興住宅が増え将来を託す若い人の転入があります。

このように飯喰区は様変わりしましたが、古き伝統と人との絆を大切にしている町づくりにには自慢ができます。

これからもいかに地域が発展しようとも、未来を担う子どもたちに誇れる昭和町を残していく事を期待いたします。

育ててもらった町



西条新田区

飯島

純さん

昭和町に来たのは、末の子どもが生まれた年で、16年前。幼い子どもたちが狭い家を走り回っている中、3人目が生まれることになり、小さい家を建てることにしたのです。職場に近く、子どもの登下校の心配のないところ、日常の買い物に不便がなく、明るく風通しがよく水のおいしいところ、税金も安いといううれしいし、万一私が単身赴任になっても高速のICに近く帰りやすいところ、と調べていくと、昭和町が浮かび上がったのです。

実際に住んでみると、町の中に昔からの人と人との優しいつながりが残っている場所だということがわかりました。子どもたちは毎朝、ご近所の方にあいさつをしながら学校に行き、午後は犬の散歩をしているお年寄りに声をかけていただき、ついでに犬の頭をなでさせてもらい、美容院のご主人に手を振り帰ってきました。

近所の神社のお祭りや、毎年神輿を担ぐことや、ふれあい祭りや地区の運動会も楽しみでした。悪い予想が当たり、私が単身赴任となった数年間、家内と子どもたちは不安なく生活できました。子どもたちが親の元を離れつつある今、町の皆さまが子どもを育ててくださったのだな、と実感しています。

昭和町議会を伝える！

～議会広報に！議会改革！視察研修受入～

- 7/29 福島県矢吹町議会……議会基本条例ほか
- 7/31 沖縄県嘉手納町議会…議会広報について
- 10/3 長野県飯島町議会……議会広報について

視察を受け入れたことで、さらなる改革への励みとなります。皆さまに開かれた議会、身近な議会と感じられるよう、日々がんばっていきます。

● 広報編集委員会
委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田 あけみ
河住 保茂

三井 克男
深澤 猛

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

12月10日（火）開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

（今澤・小林）